

朝夕の寒気が身にしみる時節となりました。日頃は、本校教育活動にご理解ご協力をいただき、誠にありがとうございます。前期に児童や保護者の皆様からいただきました「学校アンケート」について、現状を分析し、今後より一層、推進すべき点や改善点に付きまして考察いたしましたので、ご報告させていただきます。

学校教育目標 ～豊かな未来を切り拓き、夢に向かい、共に生きる子を育てる～
 めざす子どもの姿 ○元気にあいさつする子 ○人を大切にする子
 ○しっかり勉強する子 ○きまりを守る子

〈学校アンケート(保護者・児童アンケート・教職員自己評価)結果〉

	項目	児童 実現度	保護者 実現度	教職員 実現度
1	しっかりノートを書いている。	93.2	91.6	100
2	時間を意識して行動している。(ベル着)	90.2	—	95.0
3	道徳の時間にいろいろ考えることは楽しい。	82.3	—	95.0
4	「話し方名人」のうち、3つ以上できている。	78.0	—	95.0
5	「聞き方名人」のうち、3つ以上できている。	82.8	—	—
6	家庭学習(自主学習も)や宿題を進んでしている。	79.1	89.7	100
7	朝読書の10分間、毎日しっかり読書している。	81.5	71.7	90.0
8	忘れ物がないように学習の準備をしている。	85.7	86.5	—
9	相手に聞こえる声で挨拶をしている。	82.0	89.9	100
10	人に嫌なことを言ったり、したりしていない。	91.8	92.6	100
11	児童会や桃キッズの活動では、協力している。	93.4	83.3	—
12	係、当番や委員会活動を最後までしっかりしている。	96.3	74.9	100
13	学校のきまりや学校生活のルールを守っている。	92.6	84.7	100
14	分からないことや困ったことなど先生にそうだんしている。	78.6	62.8	95.0
15	分からないことや困ったことなど家の人にそうだんしている。	86.5	82.8	—
16	高学年は、他学年の見本になっている。	86.1	—	95.0
17	丁寧な言葉遣いをしている。	83.3	85.0	85.0
18	休み時間に外で遊んだり体を動かしたりしている。	84.1	76.6	90.0
19	好き嫌いなく、残さず給食を食べている。	89.1	81.1	95.0
20	交通ルールを守り、安全に気を付けて行動している。	94.5	85.3	100
21	早寝・早起き・歯磨きができている。	84.4	77.1	—

* 実現度は、「よくできている」「大体できている」を合わせた数値です。(%)

* 児童のアンケート項目に沿って、評価を載せています。

* 教職員評価については実現に向けて取り組んでいるかどうかについての数値を載せています。

実現度において、保護者・教職員と児童に大きな差がある項目について報告し、取組を進めます。

1 楽しく分かる授業を目指して

学習に関する項目では、児童と教職員の実現度に差がみられます。この差をなくすために日々の授業において「楽しく分かる授業」の実践を目指していきます。そのために、体験的・問題解決的な学習を充実させることで子ども達の興味関心を高めていきたいです。また、友だちの考えと自分の考えを比べたり、グループで話し合ったりすることをどの教科でも行っていき授業改善に努めていきます。「先生に相談する」の項目では、教職員の実現度が高い割に保護者・児童の実現度が低い結果です。子ども達の自分の思いや考えを表現する力を高めるとともに、時間的ゆとりや気軽に話せる環境づくりなどの取組を進め、保護者の方と一緒に子ども達を育てていきたいと思います。

2 家庭学習の定着を目指して

「家庭学習（自主学習も）や宿題を進んでしている。」の項目では、児童は79.1%になっています。受け身ではなく、自ら主体的に学習に向かう意欲を育てていくとともに、家庭と連携して取り組んでいきたいと考えます。家庭で学習時間を確保することは学力向上の重要なポイントになります。そこで、子ども達が集中して効率的に家庭学習（宿題）ができるように以下のようなことをご配慮ください。

「桃山東版、家庭学習の手引き」～家庭学習を習慣化するためのお願い～

- ◎学習する時間を決め、出来る限り、毎日同じ時間に行うようにします。
- ◎子ども達が集中して学習できる環境づくり、学習中はテレビを消すなど「ながら勉強」にならないような環境づくりをお願いします。
- ◎子ども達が「やる気」のでる励ましの声かけ 「丁寧に字が書けたね。」
「集中して学習ができたね。」などお家の方の一言をお願いします。その一言で子ども達の学習意欲は高まります。
- ◎学習する場所は整理整頓し、環境を整えてください。



3 読書の習慣化を目指して

読書についてはどの学年も図書室を利用する頻度が高く、児童自身も読書ノートを活用する姿が見られます。しかし、約2割弱の子どもに読書の定着が見られない状況です。今後も学校では、朝読書や読書ノートの活用・読み聞かせ等の充実、機会あるごとに子ども達・ご家庭に本の紹介や学習と関連のある本の紹介等を行い、読書の定着に努めていきたいです。各ご家庭におかれましても読書の環境づくりなどご協力いただきますようお願いいたします。



学校運営協議会の理事様からご意見をいただきました。

- ・本をよく読むとの評価は子どもと大人で差がある。習い事（塾）等の宿題やスマホ・ゲーム等を行う時間が増え、読書の時間が減少していることが気になる。
- ・家庭での読書の時間が減少しているので、学校で読書の時間を確保されていることがありがたい。読書の量が増えれば読解力が向上するので、読書の時間が増える取組をお願いしたい。
- ・保護者アンケートの全体的に「あまり出来ていない」「出来ていない」が多い気がする、この件については保護者の反省材料である。
- ・親がいると進んでお手伝いをしてくれない。低学年の時は、よくお手伝いをしてくれるが高学年になるとお手伝いをしてくれなくなる。お手伝いをしてくれる子どもに育ててほしい。家と学校との差に驚いた。
- ・「分からないことや困ったことなど先生に相談している」という項目では、子どもの評価ではあまりできていないとの評価が20パーセント以上ある。子どもにとっては、そばに相談できる相手がいることが大切であり、この数値が増えていく事が気になる。改善策を検討してほしい。
- ・「ルールを守る」との評価については、90%以上の子どもがだいたいできているとの評価であるが、地域や公共の場で守れていない様子も見られる。他者評価も含め、子どもに伝え、様々な場面で見守り育てることが必要である。